

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公開番号】特開2015-91235(P2015-91235A)

【公開日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-032

【出願番号】特願2014-237731(P2014-237731)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 0 7 K	14/435	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 N	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/543	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 Q	1/68	A
C 0 7 K	14/435	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	9/12	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	Y
G 0 1 N	33/543	5 9 7

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月15日(2015.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

癌を有するヒト患者からの生体試料中のCD74-RoS融合ポリヌクレオチドを検出

することを含む方法であって、前記生体試料は癌細胞を含む、方法。

【請求項 2】

前記検出は、第一プライマーは配列番号 4 の 1 - 6 3 6 ヌクレオチドまたはその相補体から成るポリヌクレオチドにハイブリダイズし、第二プライマーは配列番号 6 の 5 7 5 6 - 7 3 6 8 ヌクレオチドまたはその相補体から成るポリヌクレオチドにハイブリダイズする、一対のプライマーを使用し、前記試料からのポリヌクレオチドを用いたポリヌクレオチド増幅反応を行うこと、および、

増幅生成物の有無を検出することにより前記生体試料中の C D 7 4 - R O S 融合ポリヌクレオチドの有無を検出すること、を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ポリヌクレオチドは D N A である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ポリヌクレオチドは R N A である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記生体試料は腫瘍生検試料、胸水試料、または血液試料である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記癌は肺癌である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 7】

前記肺癌は非小細胞肺癌 (N S C L C) である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 8】

前記検出は、配列番号 1 のアミノ酸配列を含む C D 7 4 - R O S 融合ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む C D 7 4 - R O S 融合ゲノム D N A にハイブリダイズする蛍光標識した核酸プローブを用いた蛍光 *i n s i t u* ハイブリダイゼーションアッセイを行うこと、および、

前記生体試料中の C D 7 4 - R O S 融合ゲノム D N A の有無を検出すること、を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記生体試料は腫瘍生検試料、胸水試料、または血液試料である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記癌は肺癌である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記肺癌は非小細胞肺癌 (N S C L C) である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記検出は核酸シークエンシングを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記シークエンシングは、前記 C D 7 4 - R O S 融合ポリヌクレオチドの融合ジャンクション配列を決定することを含む、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

非小細胞肺癌 (N S C L C) の進行を抑制するための抗体または小分子化合物を含む医薬であって、前記 N S C L C は、 C D 7 4 - R O S 融合ポリヌクレオチドまたは前記 C D 7 4 - R O S 融合ポリヌクレオチドにコードされる C D 7 4 - R O S 融合ポリペプチドの存在により特徴付けられ、前記 C D 7 4 - R O S 融合ポリヌクレオチドは配列番号 2 のヌクレオチド配列または配列番号 1 のアミノ酸配列を含む C D 7 4 - R O S 融合ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含み、前記抗体または小分子化合物は C D 7 4 - R O S 融合ポリヌクレオチドの発現および / または C D 7 4 - R O S 融合ポリペプチドの活性を抑制することを特徴とする、医薬。